

断端のケアについて

小児では断端拘縮はまれにしかみられないが、その発生は阻止すべきであり、一旦生じたら間接の伸展運動と矯正訓練を直ちに開始することが必要である。

また、筋緊張と断端形状の維持ならびに改善を図る治療は大切である。断端組織とりわけ皮膚の健康状態が義肢の適合を可能にするかどうかを決定する。断端は義肢装着により摩擦・剥離・局所の不均衡な荷重など様々な機械的ストレスを受けるからである。

さらに熱発散障害も考慮しなければいけない。汗や垢、細胞の剥離などの固形物が断端とソケット内部にたまりやすい。特にソケット内部は細菌や真菌にとって理想的な培養素地であり、このため断端のケアを怠ると感染症を悪化させる。

断端衛生の原理は簡単である。義肢の処方前に、両親が小児に念入りに皮膚のケアを整え、かつ実行するように指導する。少なくとも1日に1回は中性石鹼かヘキサクロロフェンの入った洗剤で断端を徹底的に洗い、洗浄後は注意深く念入りにゆすぎ、少なくとも数分間乾燥させてから義肢を装着させる。義肢のソケット内部は毎日中性石鹼で洗い、温水に浸した布で完全に洗い落とした後に布で拭き取る。出来れば就寝前にこの作業を行い、一晩完全に乾燥させるべきである。

文献引用「小児切断と義肢」

編著：医学博士 ヨシオセトグチ 作業療法士 ルース ローゼンフェルダー

訳者：加倉井周一

出版：パシフィックサプライ株式会社